

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業	
優先度					優先度	3	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	友上 啓子		担当者名	室井 良太
取組み事項	生きがいつくりを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者					
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう					

2 事業の概要 Do

実施の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) 百歳到達者を祝福(市長訪問、祝品贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝い金を支給 					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	1	0	1	2
	百歳到達者祝福	件	14	16	12	15
	77歳(喜寿)祝福	件	371	434	337	415
	80歳到達者記念写真	件	242	225	206	370

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.168	0.340	202	0.388	114	0.444	114	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,604,568	2,930,910	183	3,364,757	115	3,753,666	112	
	事業費	5,605,512	6,341,154	113	5,031,981	79	6,900,000	137	
	合計	7,210,080	9,272,064	129	8,396,738	91	10,653,666	127	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,210,080	9,272,064	129	8,396,738	91	10,653,666	127	
	合計	7,210,080	9,272,064	129	8,396,738	91	10,653,666	127	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	80歳到達者記念写真撮影者数								
指標説明(式)	80歳到達者記念写真撮影者数(H23年度はH18~H23年度に80歳になった方が対象)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	360	336	93.3	300	89.3	370	123.3	
	実績	242	225	93.0	206	91.6			
指標名2	喜寿祝支給件数								
指標説明(式)	喜寿(77歳)祝支給件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	390	450	115.4	350	77.8	415	118.6	
	実績	371	434	117.0	337	77.6			

【効率性】

指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12678	9219	72.7	8769	95.1	8603	98.1	
	実績	8926	9394	105.2	9050	96.3			

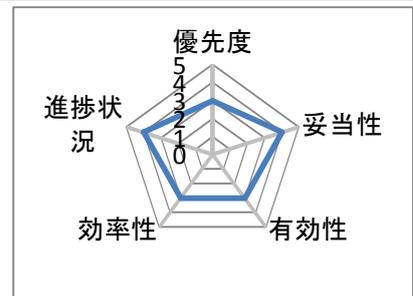
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。今後、各敬老事業の継続について検討する必要がある	3
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	80歳記念写真について:写真の撮影までに多くの人が関わるため、情報の伝達ミスが起きやすい



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	80歳記念写真について:民生委員からの情報集約後、各工程を市が情報拠点となり、スムーズな事業推進を図る

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する			担当課長	西角 隆行	担当者名	山本 晃嗣
取組み事項		生きがいつくりを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	金ヶ崎学園大学	回数	14	14	14	14		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.120	0.160	133	0.160	100	0.120	75	
	臨時職員	0.400		0	0.568	-	0.440	77	
支出内訳	人件費	2,195,016	1,547,250	70	2,978,453	192	2,390,674	80	
	事業費	671,043	629,104	94	684,800	109	713,000	104	
	合計	2,866,059	2,176,354	76	3,663,253	168	3,103,674	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	811,500	826,000	102	774,500	94	760,000	98	
	一般財源	2,054,559	1,350,354	66	2,888,753	214	2,343,674	81	
合計	2,866,059	2,176,354	76	3,663,253	168	3,103,674	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	520	550	105.8	550	100.0	550	100.0	
	実績	582	591	101.5	545	92.2			
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数							
指標説明(式)		年間延参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	7,000	8000	114.3	8000	100.0	8000	100.0	
	実績	8227	7444	90.5	7046	94.7			

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	211792	211163	99.7	187456	88.8	221691	118.3	
	実績	204718	155454	75.9	261660	168.3			

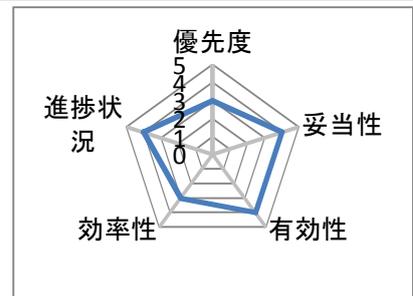
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5702	5375	94.3	4772	88.8	5643	118.3	
	実績	4924	3682	74.8	6721	182.5			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通じて地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301020100		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業		予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ						
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいつくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。							
活動実績	項目	単位	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画
	助成対象単位クラブ数	クラブ	25		24		22		24
	助成対象クラブ会員数	人	1302		1315		1231		1400

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96		
	参事以下職員	0.376	0.212	56	0.186	88	0.196	105		
	臨時職員	0.080		0		-		-		
支出内訳	人件費	3,403,400	1,946,974	57	1,799,661	92	1,829,682	102		
	事業費	3,575,647	3,454,675	97	3,148,815	91	3,334,000	106		
	合計	6,979,047	5,401,649	77	4,948,476	92	5,163,682	104		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金	1,809,000	1,745,000	96	2,099,210	120	1,511,000	72		
	市債			-		-		-		
	その他	25,884	23,469	91	23,435	100	813,024	3,469		
	一般財源	5,144,163	3,633,180	71	2,825,831	78	2,839,658	100		
	合計	6,979,047	5,401,649	77	4,948,476	92	5,163,682	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	26	26	100.0	26	100.0	24	92.3	
	実績	25	24	96.0	22	91.7			
指標名2		助成対象クラブ会員数							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1400	1400	100.0	1400	100.0	1400	100.0	
	実績	1302	1315	101.0	1231	93.6			

【効率性】

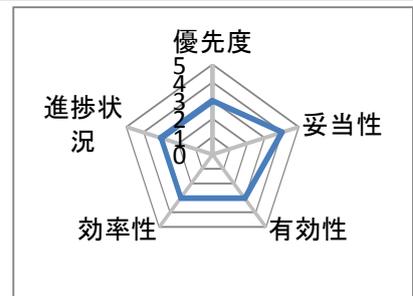
指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2602	2607	100.2	2515	96.5	2381	94.7	
	実績	2746	2627	95.7	2557	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数クラブ数とも減少傾向にあり、加入促進を図る必要がある。	3
	市民サービス	高年クラブの活動強化により地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	3
	執行体制の効率性	活動内容のマンネリ化を防ぐため、事業計画の作成により広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。また、事務的負担が1役員に集中するのを避け持続的な仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	活動内容のマンネリ化を防ぐために、事業計画を作成し、検討し、会員に周知していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	活動の内容を計画し、会員に周知徹底をする。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010100	事業の種類	7
年度	26	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		榑の園耐震診断 養護老人ホーム愛老園エレベーター外改修事業		老人福祉施設整備補助事業	
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	第5期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	認知症対応型グループホーム	件	0	1	0	0
	小規模多機能型居宅介護事業所	件	2	0	0	0
	養護老人ホーム「愛老園」	件	1	0	0	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.240	0.160	67	0.060	38	0.124	207	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,160,696	1,547,250	72	823,413	53	1,271,106	154	
	事業費	55,686,180	40,910,120	73	0	0	11,000	-	
	合計	57,846,876	42,457,370	73	823,413	2	1,282,106	156	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,742,680	40,800,000	1,090		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	54,104,196	1,657,370	3	823,413	50	1,282,106	156	
合計	57,846,876	42,457,370	73	823,413	2	1,282,106	156		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数							
指標説明(式)		認知症対応型グループホーム + 小規模多機能型居宅介護事業所の整備件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	0	1	-	0	0.0	0	-	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

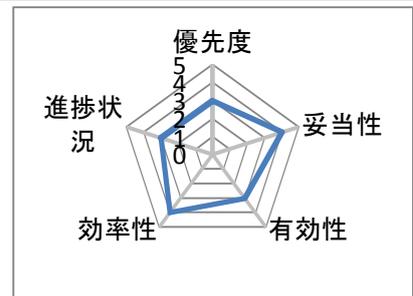
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第5期計画期間中の施設整備は計画どおり整備を完了した。 椿の園の耐震診断が遅れている。	3
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	椿の園の耐震診断が当初計画より遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の生命の安全確保のため、入所施設である「椿の園」の耐震診断が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	全庁的な施設の整備(修繕等)計画が必要。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010200		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	介護保険事業計画策定事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定					
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	(1)健康な高齢者の増進と要介護認定者の進行防止 (2)身近な地域で必要なサービスが提供できる環境整備					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険審議会を開催し、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定・変更・進行管理を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	審議会委員数	人	10	10	11	10	
	審議会開催数	回	2	2	4	4	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.100	0.108	108	0.732	678	0.144	20	
	臨時職員	0.000		-	0.044	-	0.012	27	
支出内訳	人件費	1,079,336	1,147,526	106	6,136,989	535	1,457,646	24	
	事業費	8,643,455	8,915,001	103	14,085,052	158	22,320,000	158	
	合計	9,722,791	10,062,527	103	20,222,041	201	23,777,646	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,722,791	10,062,527	103	20,222,041	201	23,777,646	118	
	合計	9,722,791	10,062,527	103	20,222,041	201	23,777,646	118	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		審議会開催日数							
指標説明(式)		審議会開催日数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	2	2	100.0	4	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	936.1	837.1	89.4	1489.2	177.9	2335.5	156.8	
	実績	880	1022.5	116.2	1992.1	194.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	4
効率性	執行体制の 効率性	平成26年度に第6期介護保険事業計画を策定した。平成27年度から平成29年度までの事業を計画に基づき遂行していく。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

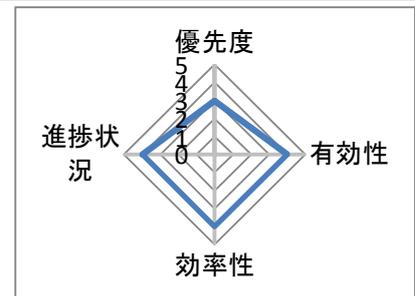
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	システム改修に係る費用が高額となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	第6期計画に基づき、事務を滞りなく推進していくとともに、国庫補助等の補助金申請事務を的確に行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010300		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	介護保険料賦課事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知及び収納業務を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	保険料賦課人数	人	9499	9808	10071	10181	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.892	0.600	67	0.677	113	0.616	91	
	臨時職員	0.200		0	0.120	-	0.120	100	
支出内訳	人件費	7,677,344	4,929,530	64	5,895,529	120	5,401,842	92	
	事業費	1,526,488	1,390,309	91	912,034	66	1,218,000	134	
	合計	9,203,832	6,319,839	69	6,807,563	108	6,619,842	97	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	9,203,832	6,319,839	69	6,807,563	108	6,619,842	97	
	合計	9,203,832	6,319,839	69	6,807,563	108	6,619,842	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	33	110.0	33	100.0	
	実績	30.71	31.89	103.8	33.06	103.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費／保険料賦課人員							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	173	171	98.8	130	76.0	119	91.5	
	実績	161	142	88.2	90	63.4			
指標名2		口座振替利用者状況							
指標説明(式)		口座振替利用者数／普徴数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.15	0.2	133.3	0.2	100.0	0.3	150.0	
	実績	0.15	0.21	140.0	0.28	133.3			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に賦課を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	事務の見直しにより、人件費が削減となった。65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封したことにより、口座振替利用者が増加した。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	5

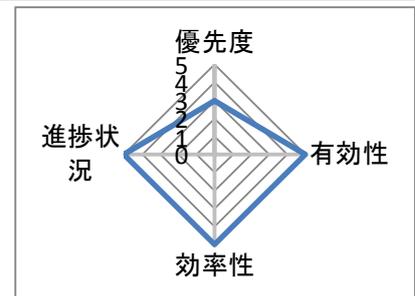
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	給付制限に関して、関係法令の改正等との調整が困難である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	口座振替の金融機関への依頼をフロッピーディスクから伝送に変更し、人件費や役務費の削減につなげる。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	介護認定審査会事業		予算事業名	介護保険事業	
優先度	3		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当課長	友上 啓子			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当者名	室井 良太			
取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要	介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	要介護認定調査件数	件	1857	1927	1938	2054
	要介護認定審査件数	件	1820	1891	1916	2040

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	1.056	0.854	81	0.824	96	0.904	110	
	臨時職員	0.088	0.780	886	0.200	26	0.200	100	
支出内訳	人件費	8,674,944	8,786,008	101	7,228,885	82	7,845,346	109	
	事業費	2,459,600	2,509,680	102	2,541,500	101	2,606,000	103	
	合計	11,134,544	11,295,688	101	9,770,385	86	10,451,346	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,134,544	11,295,688	101	9,770,385	86	10,451,346	107	
合計	11,134,544	11,295,688	101	9,770,385	86	10,451,346	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	平均介護認定事務処理日数								
指標説明(式)	延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
日	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	25	30	120.0	35	116.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7613	7645	100.4	8072	105.6	8025	99.4	
	実績	7868	7518	95.6	8044	107.0			

指標名2		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1094	1223	111.8	1275	104.3	1277	100.2	
	実績	1351	1327	98.2	1326	99.9			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数に目標日数にかかったケースもあるため今後も検討が必要。	3
	成果の向上	申請時期や適正な申請について窓口指導を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の増員により、調査体制が安定した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

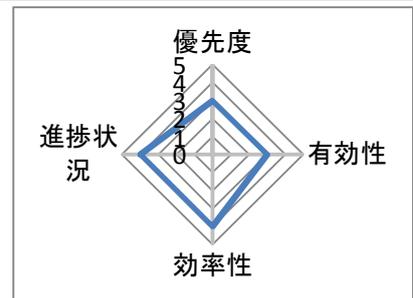
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	介護認定申請者数は増加傾向にあるため、効率化が求められる。昨年と引き続き、認定期間延長により認定件数を減少させコストを抑える。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	引き続き、関係機関との協力体制を強化し、認定までの処理日数の短縮を目指す。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302010500		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	認定調査事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	室井 良太	
取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要	要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	介護認定調査員	人	8	8	9	9
	要介護認定調査	件	1857	1927	1938	2054

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.050	0.144	288	0.053	37	0.060	113	
	臨時職員	0.600	0.684	114	0.600	88	0.632	105	
支出内訳	人件費	2,134,936	3,093,902	145	2,227,177	72	2,427,274	109	
	事業費	14,611,552	14,487,415	99	15,588,742	108	16,485,000	106	
	合計	16,746,488	17,581,317	105	17,815,919	101	18,912,274	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,746,488	17,581,317	105	17,815,919	101	18,912,274	106	
	合計	16,746,488	17,581,317	105	17,815,919	101	18,912,274	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	介護認定調査件数								
指標説明(式)	介護認定調査件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2420	2170	89.7	2062	95.0	2054	99.6	
	実績	1857	1927	103.8	1938	100.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7613	7645	100.4	8071	105.6	8026	99.4	
	実績	7868	7518	95.6	8044	107.0			

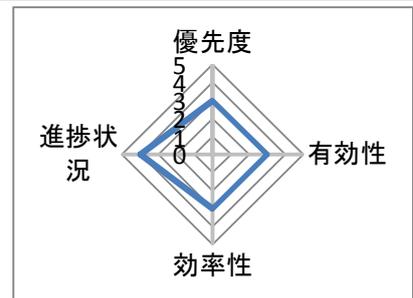
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。人員確保により処理日数の短縮が図れている。	3
	成果の向上	新人調査員の研修受講、調査員間での確認作業の実施により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の確保により、調査の体制が安定した。	3
	コストの節減	調査体制の安定に伴い、調査員間の確認作業を実施できるようになり、事務局業務の効率が上がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	介護認定申請者数は増加傾向にあるため、効率化が求められる。昨年と引き続き、認定期間延長により認定件数を減少させコストを抑える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	調査票作成時に調査員間でのチェックを行なう。実施により、事務局の負担減と調査員間でのスキルの底上げや意識統一を図る。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010600		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	介護保険給付事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	認定者数	人	1735	1758	1812	1821	
	保険給付費総額	円	2279068246	2395654964	2494431447	2655886000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.748	0.580	78	0.528	91	0.428	81	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	6,084,488	4,775,790	78	4,449,477	93	3,629,538	82	
	事業費	2,279,068,246	2,395,654,964	105	2,494,431,447	104	2,655,886,000	106	
	合計	2,285,152,734	2,400,430,754	105	2,498,880,924	104	2,659,515,538	106	
財源内訳	国庫支出金	511,586,135	544,403,303	106	573,092,667	105	597,945,000	104	
	県支出金	332,791,000	351,329,000	106	372,573,000	106	387,015,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他	1,156,138,284	1,176,701,190	102	1,222,620,147	104	1,241,843,000	102	
	一般財源	284,637,315	327,997,261	115	330,595,110	101	432,712,538	131	
	合計	2,285,152,734	2,400,430,754	105	2,498,880,924	104	2,659,515,538	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間							
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1397108	1402172	100.4	1401631	100.0	1458476	104.1	
	実績	1313584	1365432	103.9	1376617	100.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	251187	252813	100.6	264959	104.8	260866	98.5	
	実績	240593	244742	101.7	245732	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	介護保険に係る制度周知や各種サービス事業所の整備、高齢化率の増加等により一人当たり事業費は増加している。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

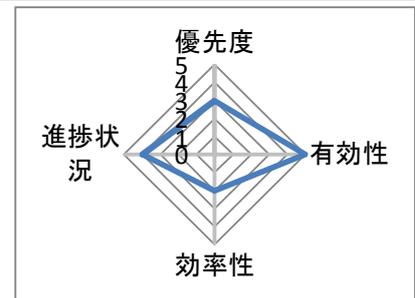
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実地指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	適正な介護サービスの提供



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	家族介護用品支給事業	予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護サービスを充実する		担当者名	塚本 裕貴
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族			
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族			
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減			

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	支給人数	人	8	6	15	15

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.120	0.020	17	0.048	240	0.080	167	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,233,816	471,070	38	730,437	155	929,754	127	
	事業費	369,370	541,370	147	814,612	150	1,500,000	184	
	合計	1,603,186	1,012,440	63	1,545,049	153	2,429,754	157	
財源内訳	国庫支出金	633,259	213,841	34	321,771	150	584,000	181	
	県支出金	316,629	106,921	34	160,885	150	293,000	182	
	市債			-		-		-	
	その他	33,669	113,688	338	171,068	150	330,000	193	
	一般財源	619,629	577,990	93	891,325	154	1,222,754	137	
	合計	1,603,186	1,012,440	63	1,545,049	153	2,429,754	157	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8	7	87.5	8	114.3	15	187.5	
	実績	8	6	75.0	15	250.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

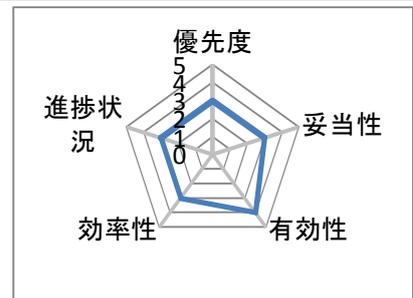
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	45172	90228	199.7	54307	60.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない	4
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる	
効率性	手段の最適性	対象介護用品に、使い捨て手袋、清拭剤を加えた。今後も定期的に必要性に考慮して対象品の検討をする	3
	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	実績数の増加は見られたが、年度途中対象外になった者も多い。周知を継続し、利用者の増加を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報誌等への掲載、ケアマネ、民生委員等への周知を図り、利用者の増加・維持を図る。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010800		事業の種類		4	
年度	26	事務事業名	家族介護慰労金支給事業	予算事業名	家族介護慰労金支給事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長		担当者名	
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族					
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	支給人数	人	1	1	1	2	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.032	0.020	63	0.004	20	0.020	500	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	554,104	471,070	85	389,525	83	464,274	119	
	事業費	120,000	120,000	100	120,000	100	240,000	200	
	合計	674,104	591,070	88	509,525	86	704,274	138	
財源内訳	国庫支出金	266,271	47,000	18		0		-	
	県支出金	133,136	23,000	17		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	141,561	25,200	18		0		-	
	一般財源	133,136	495,870	372	509,525	103	704,274	138	
	合計	674,104	591,070	88	509,525	86	704,274	138	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4	2	50.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

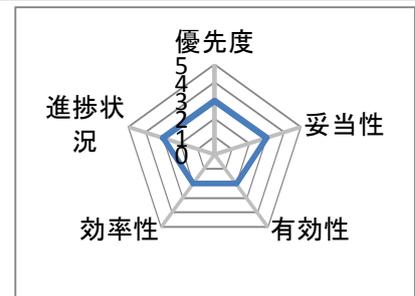
指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	267927	381905	142.5	566962.5	148.5	3521137	621.1	
	実績	674104	591070	87.7	509525	86.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	上記期間の検討と合わせ、要介護4以上の者の1年間の介護給付費などから支給額を検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	支給実績が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報誌等への掲載、ケアマネ、民生委員等への周知を図ったが件数の伸びがみられず、さらに周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010900	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名
取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	意図(どのような状態にしたいのか)	後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部			

2 事業の概要 Do

実施の概要	後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	市長申立件数	件	0	2	0	2

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.131	0.052	40	0.080	154	0.112	140	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,318,780	717,054	54	978,373	136	1,178,010	120	
	事業費	6,800	18,650	274	0	0	1,078,000	-	
	合計	1,325,580	735,704	56	978,373	133	2,256,010	231	
財源内訳	国庫支出金	523,604	290,603	56		0	419,000	-	
	県支出金	261,802	145,302	56		0	210,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他	278,372	154,498	56		0	239,000	-	
	一般財源	261,802	145,301	56	978,373	673	1,388,010	142	
	合計	1,325,580	735,704	56	978,373	133	2,256,010	231	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市長申立件数								
指標説明(式)	市長申立件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	3	150.0	3	100.0	
	実績	0	2	-	0	0.0			
指標名2	成年後見制度利用人数								
指標説明(式)	成年後見制度利用人数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	3	150.0	2	66.7	
	実績	0	0	-	1	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

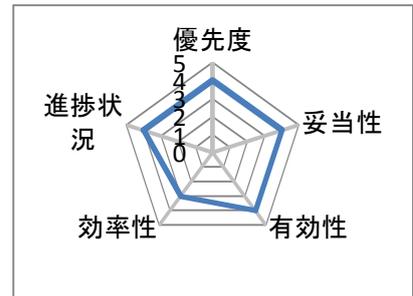
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。 H25に市長申立をした事案の1件が、H27より報酬助成対象となる見込み。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市長申立の件数を鑑み、広域で効率的に事務ができるよう成年後見支援センターの設立を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨4市3町で成年後見支援センターの設立をめざし、後見制度のさらなる普及を図る。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名 健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護サービスの利用状況の周知、確認を目的として介護給付費通知を送付する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	給付費通知	回	3	3	3	3	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.064	80	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	924,856	932,290	101	978,373	105	805,626	82	
	事業費	390,220	328,939	84	476,964	145	543,000	114	
	合計	1,315,076	1,261,229	96	1,455,337	115	1,348,626	93	
財源内訳	国庫支出金		498,185	-	188,400	38	212,000	113	
	県支出金		249,093	-	94,200	38	106,000	113	
	市債			-		-		-	
	その他	1,223,076	264,858	22	100,162	38	119,000	119	
	一般財源	92,000	249,093	271	1,072,575	431	911,626	85	
合計	1,315,076	1,261,229	96	1,455,337	115	1,348,626	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	9869	9629	97.6	9499	98.6	8794	92.6	
	実績	8797	9432	107.2	9139	96.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ケアプラン指導事業を実施し、介護サービスの質の向上を図るとともに、指導監査等に係る体制整備などを行う。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

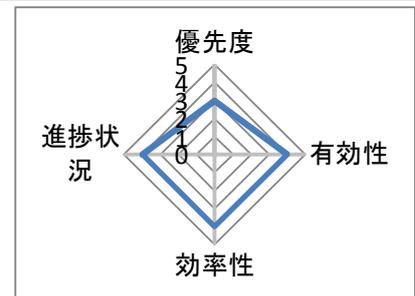
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	給付費通知は定期的に送っているが、介護給付費の適正化にまでは至っていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	国保連合会のモデル事業として「ケアプランチェック」を行う予定である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020100		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	しあわせ基金事業		予算事業名	しあわせ基金事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上					
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対し補助金を交付する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	リフトバス派遣回数	回	564	622	647	700	
	在宅介護者支援事業実施回数	回	22	22	23	22	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.072	0.050	69	0.052	104	0.072	138	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	863,064	701,680	81	761,429	109	867,690	114	
	事業費	1,250,000	2,340,000	187	1,250,000	53	1,463,000	117	
	合計	2,113,064	3,041,680	144	2,011,429	66	2,330,690	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,250,000	1,250,000	100	1,197,320	96	794,972	66	
	一般財源	863,064	1,791,680	208	814,109	45	1,535,718	189	
合計	2,113,064	3,041,680	144	2,011,429	66	2,330,690	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	500	700	140.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	564	622	110.3	647	104.0			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	30	30	100.0	22	73.3	22	100.0	
	実績	22	22	100.0	23	104.5			

【効率性】

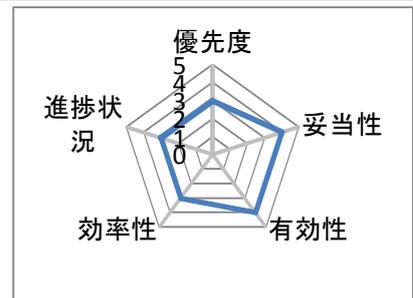
指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1803	1164	64.6	1507	129.5	1000	66.4	
	実績	1125	1310	116.4	1289	98.4			
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	6000	100.0	7500	125.0	10750	143.3	
	実績	7218	8181	113.3	7014	85.7			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ボランティアの育成や事業の実施は在宅高齢者のサービス向上につながっているが、社会情勢等の変化に伴い市民ニーズも変化するので、適宣事業内容の見直しを図り、マンネリ化を防止する必要がある。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会情勢の変化により、市民ニーズ等を把握し、事業の内容の見直しを図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	事業の拡大を図り、高齢者等外出付き添い事業を新規事業とする。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020300		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業		予算事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	日常生活を営むのに支障のある自立の在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	日常生活の手助けを必要としながら手助けを得られていない高齢者(病気やけが等一時的な場合に限る)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を営むのに支障のある高齢者が日常家事の手助けを受けとることにより自宅で自立した生活が営まれるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回1時間程度、ホームヘルパーが対象者宅へ出向き、家事援助を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	延べ利用者数	人	33	24	24	36	
	延べ利用時間	時	98	74	71	156	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.012	0.060	500	0.052	87	0.080	154
	臨時職員	0.000		-	0.004	-	0.004	100
支出内訳	人件費	399,624	778,550	195	771,149	99	940,214	122
	事業費	152,940	116,160	76	111,048	96	242,000	218
	合計	552,564	894,710	162	882,197	99	1,182,214	134
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	19,600	14,800	76	14,200	96	31,200	220
	一般財源	532,964	879,910	165	867,997	99	1,151,014	133
合計	552,564	894,710	162	882,197	99	1,182,214	134	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数							
指標説明(式)		延べ利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	48	48	100.0	36	75.0	36	100.0	
	実績	33	24	72.7	24	100.0			
指標名2		延べ利用時間数							
指標説明(式)		延べ利用時間数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
時	目標	208	120	57.7	120	100.0	156	130.0	
	実績	98	74	75.5	71	95.9			

【効率性】

指標名1		利用1時間当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費／延べ利用時間							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1548	2683	173.3	2017	75.2	1551	76.9	
	実績	1561	1570	100.6	1564	99.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	介護認定を受けた市民は介護保険サービスに移行するために、利用者・利用回数が減少傾向である。	3
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、介護認定は受けていないが病気や怪我等で、一時的にホームヘルプサービスが必要な市民にとって、有効なサービスである。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用者負担金の設定に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

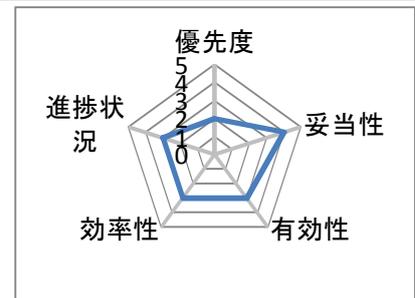
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	介護認定を受けていない高齢者に事業の内容が周知されていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	サービス事業の内容を民生委員、包括等を通じて周知徹底する。



配点	32.5
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302020400		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	老人医療費助成事業	予算事業名	老人医療費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		老人医療費助成事業					
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者(65~69歳)の老人医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢者(65~69歳)の老人医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人(65~69歳)の医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	助成費	円	15,843,519	18,101,427	16,295,069	20,160,000
	助成件数	件	5,592	6,060	6,079	6,000
	平均受給者数	人	304	363	374	420

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.248	0.264	106	0.286	108	0.289	101	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,284,966	2,410,164	105	2,637,641	109	2,619,166	99	
	事業費	15,843,519	18,101,427	114	16,295,069	90	20,160,000	124	
	合計	18,128,485	20,511,591	113	18,932,710	92	22,779,166	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,320,070	4,991,482	116	4,801,713	96	6,479,000	135	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,808,415	15,520,109	112	14,130,997	91	16,300,166	115	
合計	18,128,485	20,511,591	113	18,932,710	92	22,779,166	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの老人医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,000	54,008	81.8	53,381	98.8	48,000	89.9	
	実績	52,117	49,866	95.7	43,570	87.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		老人医療費助成1件当たりコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	352	411	116.8	380	92.5	437	115.0	
	実績	409	398	97.3	434	109.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の老人に対し、医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	受給者数・受診件数は増加したが、助成費及び1件当たりのコストは減となった。	4
	執行体制の効率性	年齢到達で該当する者等に対して、申請案内をするなど迅速、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

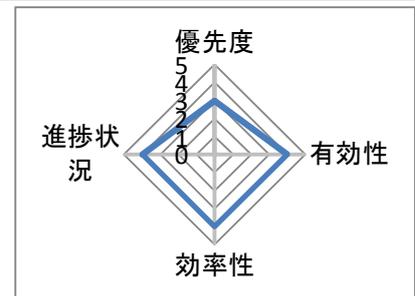
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	所得更正等により、該当者への通知業務がうまくできていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	手段の最適性	広報紙等で事業の周知を図り、対象者がもれなく受給できるようにする。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業		予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業 優先度		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博		担当者名	小倉 京子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民						
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす						

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	助成費	円	2,925,000	3,074,000	3,344,000	3,680,000
	助成回数	回	2,925	3,074	3,344	3,680
	申請者数	人	497	504	538	600
	対象者数	人	9,531	9,841	10,151	10,151

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.022	0.024	109	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	539,342	565,284	105	607,665	107	563,296	93	
	事業費	2,925,000	3,074,000	105	3,344,000	109	3,680,000	110	
	合計	3,464,342	3,639,284	105	3,951,665	109	4,243,296	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,464,342	3,639,284	105	3,951,665	109	4,243,296	107	
	合計	3,464,342	3,639,284	105	3,951,665	109	4,243,296	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		受診回数/申請人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6.1	6.1	100.0	6.1	100.0	6.1	100.0	
	実績	5.9	6.1	103.4	6.2	101.6			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請人数/対象者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.5	6.5	100.0	6.1	93.8	5.9	96.7	
	実績	5.2	5.1	98.1	5.3	103.9			

【効率性】

指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1回当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,156	1,139	98.5	1,154	101.3	1,153	99.9	
	実績	1,184	1,184	100.0	1,182	99.8			

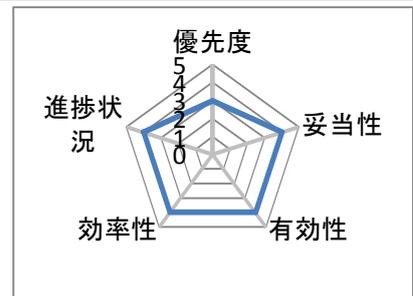
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に占める申請者の割合、申請者1人当りの助成回数はほぼ横ばいであり、適正な助成を行った。	4
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストは前年並みであった。	4
	手段の最適性	適正な助成を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象者に占める申請者の割合が横ばいであり、助成回数や助成内容の見直しが必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	県下実施自治体の動向を伺いつつ、助成内容の見直しを検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業		予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者特別医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者特別医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者特別医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢でかつ重度の障害をもつ者に対し、医療費の一部負担相当額を特別医療費として助成する				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	助成費	円	28,581,999	29,828,402	28,780,285	33,600,000
	助成件数	件	7,352	7,293	7,100	7,800
	平均受給者数	人	336	318	310	325

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.215	0.232	108	0.251	108	0.255	102	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,030,074	2,164,180	107	2,366,461	109	2,355,394	100	
	事業費	28,581,999	29,828,402	104	28,780,285	96	31,600,000	110	
	合計	30,612,073	31,992,582	105	31,146,746	97	33,955,394	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	11,647,805	12,746,672	109	12,200,493	96	13,879,000	114	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,964,268	19,245,910	101	18,946,253	98	20,076,394	106	
合計	30,612,073	31,992,582	105	31,146,746	97	33,955,394	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの高齢重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	108,873	95,070	87.3	102,754	108.1	103,385	100.6	
	実績	85,065	93,800	110.3	92,840	99.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	269	275	102.2	285	103.6	46	16.1	
	実績	276	297	107.6	333	112.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の高齢重度障害者に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	受給者の減少に伴い、1件当りのコストも減じている。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

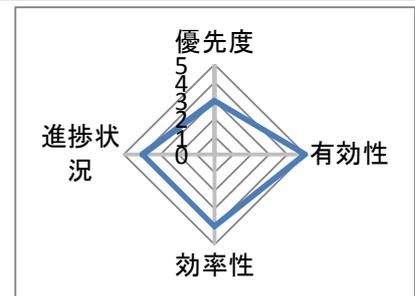
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療費通知などを行い、医療費の抑制を図っていく。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020800	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	高齢者特別給付金支給事業	予算事業名	高齢者特別給付金支給事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	藤田 達郎
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍高齢者等福祉給付金支給要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等			
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍高齢者等に対し、福祉給付金を支給する				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	無年金外国籍高齢者等福祉給付金事務	人(延べ)	17	5	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.018	0.018	100	0.018	100	0.018	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	445,968	455,696	102	497,997	109	448,758	90	
	事業費	571,200	167,500	29	0	0	395,000	-	
	合計	1,017,168	623,196	61	497,997	80	843,758	169	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	283,000	83,000	29		0	196,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	734,168	540,196	74	497,997	92	647,758	130	
合計	1,017,168	623,196	61	497,997	80	843,758	169		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0.444	0.444	100.0	0.444	100.0	0.444	100.0	
	実績	0.444	0.444	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし。	3
	成果目標(改善)達成度	対象者に対して100%給付(対象者なし)。	
効率性	コストの節減	対象者なし。	3
	執行体制の効率性	対象者なし。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし。	3

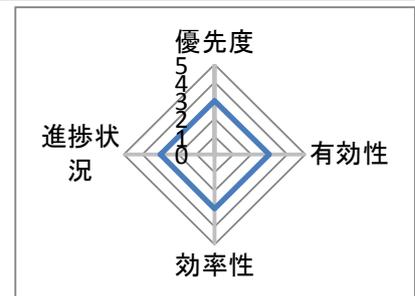
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	在日外国人の無年金問題は、本来年金制度の持つ加入資格要件上発生した問題であり、国の責任において実施すべき問題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	関係機関を通じて、国に要望していく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	老人短期入所運営事業		予算事業名	老人短期入所運営事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	塚本 裕貴
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者						
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利用人数	人	0	1	1	5	
	短期入所日数	日	0	12	31	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.001	0.016	1,600	0.032	200	0.212	663	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	314,660	440,322	140	606,469	138	1,953,810	322	
	事業費	3,974	53,065	1,335	127,130	240	203,000	160	
	合計	318,634	493,387	155	733,599	149	2,156,810	294	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0	4,680	-	12,090	258	19,500	161	
	一般財源	318,634	488,707	153	721,509	148	2,137,310	296	
合計	318,634	493,387	155	733,599	149	2,156,810	294		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	0	1	-	1	100.0			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	0	12	-	31	258.3			

【効率性】

指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40600	40600	100.0	40600	100.0	40600	100.0	
	実績	0	53065	-	127130	239.6			

指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4060	4060	100.0	4060	100.0	4060	100.0	
	実績	0	4422	-	4101	92.7			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合の”つなぎ”としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯分離を図る手段として有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

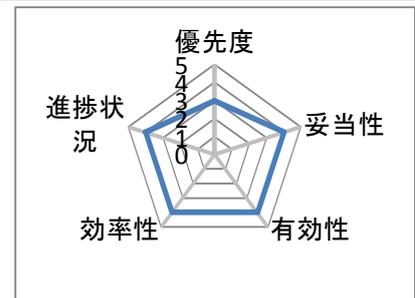
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの連携の必要性

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層構築し、事業への理解を深めてもらう。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021000		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	高齢者デイサービス運営事業		予算事業名	高齢者デイサービス運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者デイサービス事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	家に閉じこもりがちな高齢者					
	誰(何)を対象として	家に閉じこもりがちな高齢者で要介護・要支援の認定を受けていない者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会的孤立感を解消し、要介護状態に陥るのを防止する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		デイサービス事業所又はミニデイサービス事業所において、対象者に健康チェック・入浴サービス・給食サービス等の提供を通して、高齢者の在宅生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	デイ延利用者数	人	352	283	172	200
	デイ延利用回数	回	608	548	336	500
	ミニデイ延利用者数	人	252	158	167	180
	ミニデイ延利用回数	回	368	220	233	250

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.024	0.040	167	0.012	30		0	
	臨時職員	0.000		-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	492,312	624,810	127	461,229	74	319,574	69	
	事業費	2,622,280	2,140,864	82	1,510,140	71	2,658,000	176	
	合計	3,114,592	2,765,674	89	1,971,369	71	2,977,574	151	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,114,592	2,765,674	89	1,971,369	71	2,977,574	151	
	合計	3,114,592	2,765,674	89	1,971,369	71	2,977,574	151	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数の増減							
指標説明(式)		延べ利用者数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	660	660	100.0	550	83.3	380	69.1	
	実績	604	441	73.0	336	76.2			
指標名2		延べ利用回数の増減							
指標説明(式)		延べ利用回数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1440	1380	95.8	1000	72.5	800	80.0	
	実績	976	768	78.7	569	74.1			

【効率性】

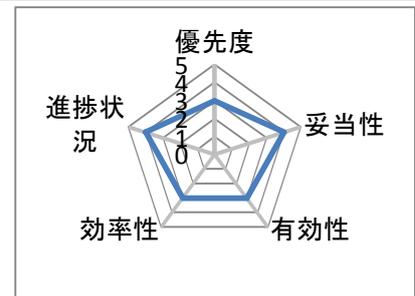
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用／延べ利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3007	3118	103.7	3809	122.2	3970	104.2	
	実績	3191	3601	112.8	3464	96.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	認定を受けた市民は、介護保険サービスに移行するため、利用者・回数ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	閉じこもり防止によって、心身の健全化が図れ、高齢者が要介護の状態に陥る危険性を軽減できる。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用負担金の設定に努めている。	3
	手段の最適性	ひとり暮らし、認知症の高齢者が増加の傾向にある中、認知症予防とともに介護する家族の負担軽減等は、在宅生活を継続する上で必要不可欠である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ひとり暮らし、認知症等が増加傾向である、認知症の予防や介護する家族負担の軽減になるように事業の周知を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	事業の周知を図るために事業の内容を、民生委員、包括等に依頼。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021100	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	予算事業名	高齢者日常生活用具給付等事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 塚本 裕貴
取組み事項		介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市老人日常生活用具給付等事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	市民税非課税の65歳以上の高齢者のみの世帯で、火の始末が特に不安な者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		防火等に配慮の必要な対象者に対し、電磁調理器は1万6千円、自動消火器は2万6千円を限度に給付し、在宅生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	給付人数	人	2	0	5	4

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.016	36	0.036	225	0.040	111	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	646,792	440,322	68	637,461	145	619,434	97	
	事業費	21,600	0	0	66,028	-	94,000	142	
	合計	668,392	440,322	66	703,489	160	713,434	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	668,392	440,322	66	703,489	160	713,434	101	
合計	668,392	440,322	66	703,489	160	713,434	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付人数							
指標説明(式)		給付人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	5	83.3	4	80.0	4	100.0	
	実績	2	0	0.0	5	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		総経費/給付人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	139685	124762	89.3	211981	169.9	178359	84.1	
	実績	344996	0	0.0	140698	-			

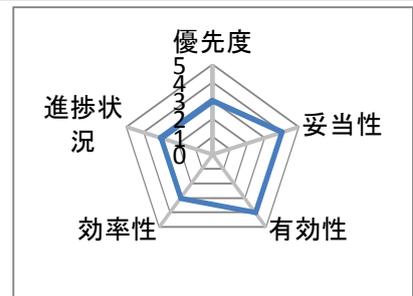
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	防火配慮が必要な一人暮らし高齢者の在宅生活を支える上で必要な事業である。H26年度についてはケアマネ等の周知の成果もあり、利用件数が増加した。	4
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増え、市内には老朽化木造住宅が多い中、在宅生活の継続に加え防災上、有効な市民サービスである。	
効率性	手段の最適性	電磁調理器の給付は有効であるが、ガスを遣いなれた高齢者には抵抗がある上、ガス使用の危険性の認識が薄い高齢者が少なくない。給付のみならず、抵抗感の除去や危険性の認識を高める必要がある。	3
	執行体制の効率性	家族、ケアマネージャー、民生委員、業者等関係者に協力してもらい、申請から取り付けまでの調整を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢者電話の貸与については実績がないため廃止とする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	H26年度と同様、一定の効果があつたものと捉え、利用者増加のため、広報誌・ケアマネ等に周知を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3分の1～10/10の額を助成する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	助成件数	件	26	31	28	39	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.150	0.148	99	0.092	62	0.052	57	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,465,536	1,455,006	99	1,071,349	74	712,530	67	
	事業費	6,668,424	7,702,617	116	5,045,920	66	9,221,000	183	
	合計	8,133,960	9,157,623	113	6,117,269	67	9,933,530	162	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,162,000	3,710,000	117	2,442,000	66	4,600,000	188	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,971,960	5,447,623	110	3,675,269	67	5,333,530	145	
合計	8,133,960	9,157,623	113	6,117,269	67	9,933,530	162		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	19	38	200.0	37	97.4	39	105.4	
	実績	26	31	119.2	28	90.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

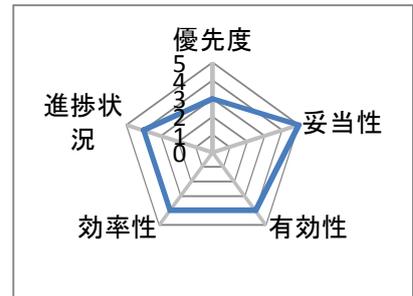
指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	324657.895	270613.21	83.4	269264.89	99.5	254705.89	94.6	
	実績	312844.61	295407.19	94.4	218473.89	74.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助が無くなると実施が困難



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度が複雑で、調査等もあるので、制度の理解のない事業者とのやりとりに時間を要するため、事業者用マニュアル等を進めたい。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業	予算事業名	高齢者在宅生活支援事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 塚本 裕貴
取組み事項		介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱 ・相生市寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者			
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯 ・要介護2相当以上の者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費代を補助する 年2回を限度に、寝具の洗濯・乾燥・消毒を実施する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	延べ利用回数(寝具)	回	0	0	0	廃止
	延べ利用回数(理・美容)	回	24	19	24	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.160	0.021	13	0.024	114	0.040	167	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,542,776	478,757	31	544,485	114	619,434	114	
	事業費	144,000	50,000	35	260,000	520	272,000	105	
	合計	1,686,776	528,757	31	804,485	152	891,434	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,686,776	528,757	31	804,485	152	891,434	111	
	合計	1,686,776	528,757	31	804,485	152	891,434	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	4	66.7	廃止	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	36	36	100.0	30	83.3	30	100.0	
	実績	24	19	79.2	24	126.3			

【効率性】

指標名1		1回あたりの事業コスト(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	6000	100.0	12000	200.0	廃止	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	45854.8	16298.8	35.5	14006	85.9	22647.8	161.7	
	実績	66282.3	27197.7	41.0	24686.9	90.8			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業によって利用者、利用回数は違うが、一定の数の利用者はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

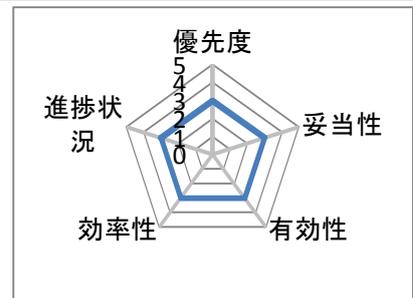
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	寝具類サービス事業については利用実績がないため廃止とする。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	理・美容サービスについて、広報紙の利用、ケアマネ・通所施設等への周知を行ない、新規利用者の増加を目指す。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	アイアイコール事業	予算事業名	アイアイコール事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者			
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で緊急事態が発生した場合に、ボタンひとつで委託業者へ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	年度末時の設置台数	台	234	227	225	244
	緊急通報回数	回	39	34	28	40

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.060	0.088	147	0.088	100	0.120	136	
	臨時職員	0.000		-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	770,376	993,786	129	1,050,077	106	1,250,534	119	
	事業費	3,449,040	3,480,435	101	3,529,008	101	4,314,000	122	
	合計	4,219,416	4,474,221	106	4,579,085	102	5,564,534	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,219,416	4,474,221	106	4,579,085	102	5,564,534	122	
合計	4,219,416	4,474,221	106	4,579,085	102	5,564,534	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
台	目標	250	250	100.0	270	108.0	244	90.4	
	実績	234	227	97.0	225	99.1			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	25	125.0	40	160.0	40	100.0	
	実績	39	34	87.2	28	82.4			

【効率性】

指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費/設置台数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13796.2	15596	113.0	15629.6	100.2	17680	113.1	
	実績	14739.4	15332.3	104.0	15684.4	102.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、援護を必要とする利用者にとっては、在宅支援の観点から有効的なサービスとなっている。	4
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用を自己負担してもらっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

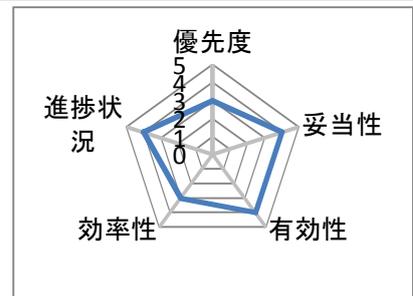
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	安心して住み慣れた地域で暮らしていただけるための在宅支援として考え、条件内容等の検討をする。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	条件内容の検討や在宅支援として、民生委員、ケアマネ、包括等の周知徹底に努めたい。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者						
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	利用人数	人	71	62	60	70		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.074	168	0.064	86	0.080	125	
	臨時職員	0.000		-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	646,792	886,168	137	864,125	98	940,214	109	
	事業費	694,276	674,934	97	707,772	105	880,000	124	
	合計	1,341,068	1,561,102	116	1,571,897	101	1,820,214	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,341,068	1,561,102	116	1,571,897	101	1,820,214	116	
	合計	1,341,068	1,561,102	116	1,571,897	101	1,820,214	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規利用申込者							
指標説明(式)		新規利用申込者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	6	7	116.7	5	71.4	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

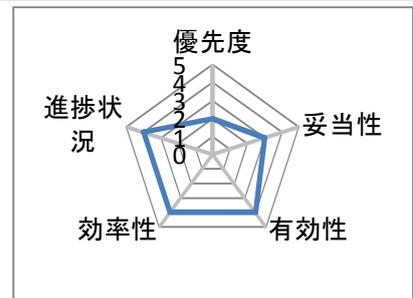
指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	28536	12225	42.8	12571	102.8	12571	100.0	
	実績	9778.5	10886	111.3	11796	108.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	4
	成果の向上	事業の周知を図り、より多くの高齢者の方が安心して在宅生活を送れるようにする必要がある。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	安心して住み慣れた地域で高齢者世帯も生活できるように条件等の内容を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢者のみの世帯等にも利用できるように条件の内容を検討していく必要がある。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、名簿を作成する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	ひとり暮らし高齢者数(2回目調査時)	人	1485	1536	1556	1600	

3 投入資源

インプット指標		24年度決算			25年度決算			26年度決算			27年度予算			備考
		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	事業費単位:円					
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96						
	参事以下職員	0.048	0.088	183	0.104	118	0.120	115						
	臨時職員	0.000		-	0.008	-	0.008	100						
支出内訳	人件費	677,688	993,786	147	1,183,765	119	1,260,994	107						
	事業費			-		-		-						
	合計	677,688	993,786	147	1,183,765	119	1,260,994	107						
財源内訳	国庫支出金			-		-		-						
	県支出金			-		-		-						
	市債			-		-		-						
	その他			-		-		-						
	一般財源	677,688	993,786	147	1,183,765	119	1,260,994	107						
合計	677,688	993,786	147	1,183,765	119	1,260,994	107							

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(2回目調査時)							
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(2回目調査時)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1450	1500	103.4	1550	103.3	1600	103.2	
	実績	1485	1536	103.4	1556	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

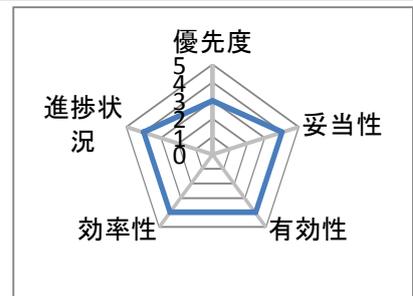
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費／一人暮らし高齢者数(2回目調査時)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	467	645	138.1	685	106.2	788	115.0	
	実績	456	647	141.9	761	117.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生委員の实地調査により、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生委員の個別調査によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生委員の個別調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	個人情報保護の観点により調査が困難なケース、訪問拒否等が増加しつつあるので内容(年齢等)を検討をする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ひとり暮らし高齢者の年齢の検討をし、調査が困難な高齢者の把握をし見直しを図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021700		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	火災警報器給付・取付事業		予算事業名	火災警報器給付・取付事業 優先度		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市火災警報器給付・取付事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	情報弱者であり独力で火災警報器設置が困難な者						
	誰(何)を対象として	火災警報器が未設置の市民税非課税世帯に属する高齢者のみの世帯及び高齢者と重度障害者のみの世帯						
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災警報器を設置し、火災からの安全・安心を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者宅に火災警報器を給付し、取り付ける。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	給付・取付件数	件	7	2	1	6	
	給付個数	個	7	3	2	8	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.010	25	0.044	440	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-	
支出内訳	人件費	644,732	654,102	101	436,013	67	650,466	149	
	事業費	20,359	8,725	43	6,048	69	25,000	413	
	合計	665,091	662,827	100	442,061	67	675,466	153	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	665,091	662,827	100	442,061	67	675,466	153	
合計	665,091	662,827	100	442,061	67	675,466	153		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付個数							
指標説明(式)		給付個数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
個	目標	100	20	20.0	10	50.0	8	80.0	
	実績	7	3	42.9	2	66.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設置1件あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷設置件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6650.91	30678.9	461.3	54193.3	176.6	84433	155.8	
	実績	95013	331413.5	348.8	442061	133.4			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	当該事業によって災害弱者である高齢者宅への火災警報器設置がほぼ完了しているため、生活の安全・安心を高めている。	5
効率性	コストの節減	市職員及び西はりま消防組合職員が各戸直接取付しており、機器の購入費のみの費用で、確実に対象者宅に給付取付できている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

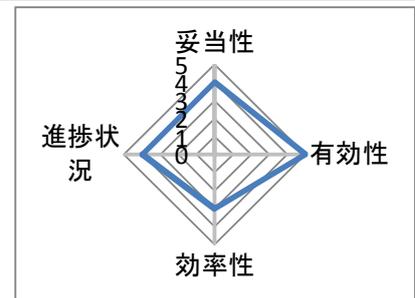
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	火災警報器の設置はおおむね対象者への取り付けは完了した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	最終年度であるため、民生委員、ケアマネ、包括等に周知徹底を図る。



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	老人保護措置事業		予算事業名	老人保護措置事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	塚本 裕貴
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者					
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定					

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	年度末入所者数	人	39	36	37	38	
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	0	0	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.363	0.240	66	0.248	103	0.220	89	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	3,110,748	2,162,210	70	2,280,037	105	2,015,874	88	
	事業費	71,005,432	69,847,733	98	71,935,137	103	77,400,000	108	
	合計	74,116,180	72,009,943	97	74,215,174	103	79,415,874	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	15,357,847	15,774,883	103	16,583,485	105	17,959,200	108	
	一般財源	58,758,333	56,235,060	96	57,631,689	102	61,456,674	107	
合計	74,116,180	72,009,943	97	74,215,174	103	79,415,874	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	37	39	105.4	38	97.4	38	100.0	
	実績	39	36	92.3	37	102.8			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	2	100.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	2	0	0.0	1	-			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数+虐待に伴う措置入所者数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	2041590	1883070	92.2	1836615	97.5	1984615	108.1	
	実績	1820652	1940214	106.6	1893030	97.6			

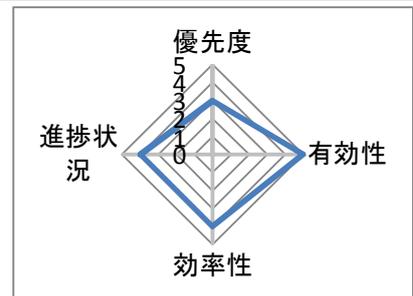
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センターと連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	虐待案件での緊急入所に対しての空床確保と施設の運営管理との調整



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層強化し、事業への理解を深めてもらう

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302021900		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金						
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	対象者へ減額認定証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	減額認定証交付件数	人	1	1	3	2
	減額認定証利用件数	人	0	1	2	2
	施設への補助金額	円	0	35119	87853	261340

3 投入資源

会計区分	一般会計		事業費単位:円					
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.004	0.012	300	0.012	100	0.020	167
	臨時職員	0.000		-				
支出内訳	人件費	337,832	409,574	121	451,509	110	464,274	103
	事業費	0	35,119	-	87,853	250	262,000	298
	合計	337,832	444,693	132	539,362	121	726,274	135
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金		26,000	-	65,000	250	196,000	302
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	337,832	418,693	124	474,362	113	530,274	112
合計	337,832	444,693	132	539,362	121	726,274	135	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	1人当たり減免総額								
指標説明(式)	減免総額÷減免認定利用者件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	143810	129640	90.1	129640	100.0	131000	101.0	
	実績	0	35119	-	43927	125.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	143810	129640	90.1	129640	100.0	131000	101.0	
	実績	0	35119	-	29284	83.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年度は2名の方に対し軽減が図られた。	4

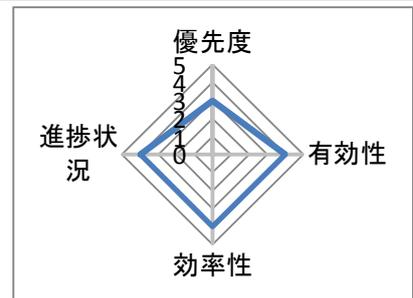
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人へのさらなる制度の周知が必要。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類			
年度	26	事務事業名	救急医療情報キット配付事業	予算事業名			優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者						
	誰(何)を対象として	次のいずれかに該当する者①一人暮らし高齢者②高齢者のみの世帯に属する者③重度障害者のみの世帯に属する者④高齢者と重度障害者のみの世帯に属する者⑤生命に危険な病状						
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		キットに救急医療情報を入れ自宅冷蔵庫で保管してもらうとともに、キットの存在を示すステッカーを貼り、救急時に救急隊員の手を介して情報を搬送先病院に伝えることで、速やかな救急処置を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	配付件数	件	96	98	65	80	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.040	0.040	100		0		-	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	615,896	624,810	101	358,533	57	309,114	86	
	事業費	0		-		-		-	
	合計	615,896	624,810	101	358,533	57	309,114	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	615,896	624,810	101	358,533	57	309,114	86	
	合計	615,896	624,810	101	358,533	57	309,114	86	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配付件数							
指標説明(式)		配付件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	150	100	66.7	110	110.0	80	72.7	
	実績	96	98	102.1	65	66.3			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	10	250.0	5	50.0	
	実績	2	6	300.0	2	33.3			

【効率性】

指標名1		救急医療情報キットの配付率							
指標説明(式)		配付件数の累計／4500(作成数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	39.2	40.2	102.6	42.6	106.0	43	100.9	
	実績	38	40.2	105.8	41.3	102.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成するすることで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

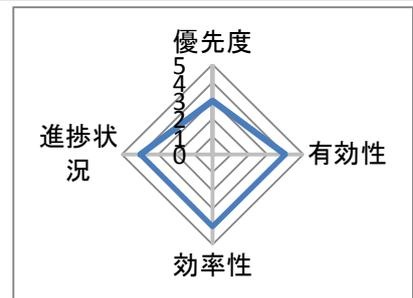
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	ひとり暮らしの高齢者は民生委員により周知できているがその他の条件の利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報等で市民への周知を図るように努める。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022200		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	二次予防事業対象者把握事業	予算事業名	二次予防事業対象者把握事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	生活機能が低下し、近い将来、要支援状態や要介護状態に陥りかねない二次予防事業対象者の把握					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援状態や要介護状態に陥らないよう、介護予防を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要	包括支援センターに委託し、対象者本人や家族、または地域からの情報により二次予防事業対象者を把握し、訪問等により支援し、必要な介護予防事業等へ繋げる。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	二次予防事業対象者数	人	458	590	629	508
	二次予防事業の参加者数	人	47	88	89	80

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.032	0.100	313	0.032	32	0.084	263	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	573,328	1,086,030	189	606,469	56	960,786	158	
	事業費	5,486,544	3,903,080	71	4,530,981	116	5,000,000	110	
	合計	6,059,872	4,989,110	82	5,137,450	103	5,960,786	116	
財源内訳	国庫支出金	1,514,968	975,770	64	1,789,737	183	1,250,000	70	
	県支出金	757,484	487,885	64	894,868	183	625,000	70	
	市債			-		-		-	
	その他	3,029,936	1,951,540	64	951,506	49	2,500,000	263	
	一般財源	757,484	1,573,915	208	1,501,339	95	1,585,786	106	
	合計	6,059,872	4,989,110	82	5,137,450	103	5,960,786	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	二次予防事業対象者数								
指標説明(式)	目標…高齢者人口(年初め時)の5%				実績…二次予防事業対象者数				
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	459	477	103.9	492	103.1	508	103.3	
	実績	458	590	128.8	629	106.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		二次予防事業対象者の把握1件当たりの委託料コスト							
指標説明(式)		総経費÷二次予防事業対象者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15538	11033	71.0	10776	97.7	11734	108.9	
	実績	13231	8456	63.9	8168	96.6			

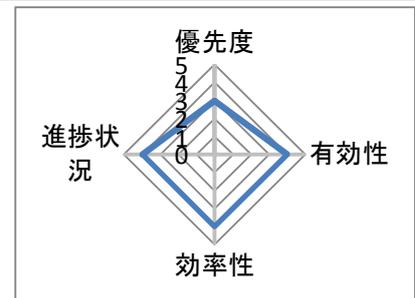
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	介護保険事業計画のアンケートに基本チェックリストを組み込み、郵送により、対象者の把握を行った。	4
	期待する目標	把握した対象者を二次予防事業への参加に結びつけられた方は、介護予防の効果を高めることができたが、二次予防事業の定員もあり、把握対象者全員の介護予防の効果を上げることは難しい。	
効率性	執行体制の効率性	実態把握を地域包括支援センターに委託することで情報の集約化が図られ、各高齢者の状態の変化に応じてきめ細やかな対応を図ることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	包括支援センターとのスムーズな連携により、対象者の実態把握につなげることができた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	包括支援センター及び整備予定の在宅介護支援センターと連携し、対象者の実態把握につなげ、高齢者のさらなる介護予防に努めていく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022300		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	通所型介護予防事業	予算事業名	通所型介護予防事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の二次予防事業対象者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の二次予防事業対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	二次予防事業対象者把握事業により把握された二次予防事業対象者を対象に介護予防ケアプランに基づき定期的に介護予防プログラム(運動機能・栄養改善・口腔機能の維持・向上)を実施					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	教室開催回数	回	48	85	96	45
	参加者数(実人数)	人	47	75	78	40
	延べ参加者数	人	1123	1346	1175	400
	新規要介護等認定者数	人	2	1	0	0

3 投入資源

会計区分		介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.248	0.160	65	0.180	113	0.080	44	
	臨時職員	0.008		0		-	0.040	-	
支出内訳	人件費	2,241,712	1,547,250	69	1,753,173	113	1,034,354	59	
	事業費	2,408,484	3,163,091	131	3,215,262	102	1,249,000	39	
	合計	4,650,196	4,710,341	101	4,968,435	105	2,283,354	46	
財源内訳	国庫支出金	1,162,549	1,177,585	101	1,242,109	105	570,839	46	
	県支出金	581,275	588,792	101	621,055	105	285,419	46	
	市債			-		-		-	
	その他	2,325,098	2,355,170	101	2,484,217	105	1,141,677	46	
	一般財源	581,274	588,794	101	621,054	105	285,419	46	
	合計	4,650,196	4,710,341	101	4,968,435	105	2,283,354	46	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1200	1400	116.7	1500	107.1	400	26.7	
	実績	1123	1346	119.9	1175	87.3			
指標名2		事業参加者からの新規認定者率							
指標説明(式)		新規認定者数÷事業参加者数(実人数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	2	1	50.0	0	0.0			

【効率性】

指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	99072	131506	132.7	54059	41.1	50741	93.9	
	実績	96879	55415	57.2	51754	93.4			

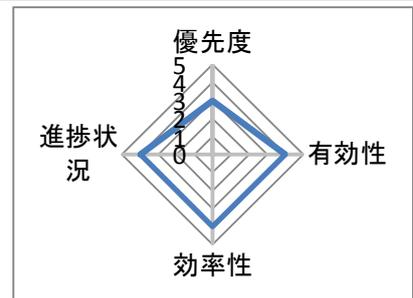
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	28	112.0	20	71.4	9	45.0	
	実績	23.4	16	68.4	12	75.0			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者数は増えたが、延べ参加者は減少しており、参加率が低い。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者の教室での声から、自身の介護予防に対する意識が高まっている。自宅においても自主的に運動等出来ている人もみられる。	
効率性	手段の最適性	送迎利用希望者へ送迎バスを実施により、虚弱な高齢者が公平に安心して参加できるよう環境整備をしている。	4
	執行体制の効率性	教室従事者間でカンファレンスを行い、教室運営について密に情報共有できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教室の有効性はみられるが、介護予防制度の見直しに合わせて現状に適した地域支援事業の充実をはかる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	参加率が低い



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正に伴い、事業内容を変更し実施。実施方法の検討とともに参加者が継続して集中的に教室参加できるよう改善する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022400	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	訪問型介護予防事業	予算事業名	訪問型介護予防事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	山下 恵
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定 無
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつを二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)			
	誰(何)を対象として	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつを二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるようにする			

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症・うつ・閉じこもりの二次予防事業対象者及び当該おそれのある一般高齢者に対し、保健師等が直接訪問し家庭における療養方法、介護を要する状態になることの予防に関する指導等を行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	訪問延べ人数	人	37	39	42	60

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.044	0.020	45	0.060	300	0.040	67	
	臨時職員	0.008		0		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	666,016	471,070	71	823,413	175	671,734	82	
	事業費	62,730	130,679	208	159,305	122	225,000	141	
	合計	728,746	601,749	83	982,718	163	896,734	91	
財源内訳	国庫支出金	15,682	32,670	208	245,680	752	224,184	91	
	県支出金	7,821	16,335	209	122,840	752	112,092	91	
	市債			-		-		-	
	その他	31,365	65,340	208	491,359	752	448,367	91	
	一般財源	673,878	487,404	72	122,839	25	112,091	91	
合計	728,746	601,749	83	982,718	163	896,734	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問指導者数の増減							
指標説明(式)		訪問指導者数の増減							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	80	100.0	80	100.0	60	75.0	
	実績	37	39	105.4	42	107.7			
指標名2		新規介護認定者数の増減							
指標説明(式)		新規介護認定者数の増減							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	2	4	200.0	2	50.0			

【効率性】

指標名1		訪問1回あたりのコスト							
指標説明(式)		5,500円/回							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5500	5500	100.0	5500	100.0	5500	100.0	
	実績	5500	5500	100.0	5500	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ訪問指導者数が増加し、多くの訪問による支援が出来た。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の定義に則した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	委託専門職による定期的な訪問が出来ており、個別ケアプランに則した訪問実施が出来た。	4
	執行体制の効率性	栄養に特化したニーズが少ない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なし	4

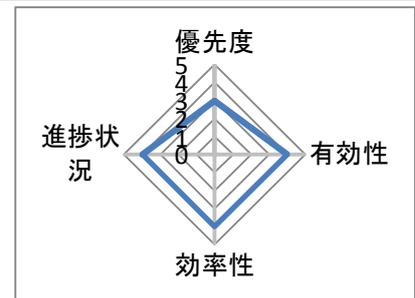
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	栄養に特化したニーズが少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	栄養士による栄養指導は廃止とし、保健師による訪問指導のみとする。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022500		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	膝腰らくらく教室	予算事業名	膝腰らくらく教室事業	優先度	2
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	運動機能の向上のため、実施期間は5か月を1期間とし前期、後期の年2期とする。それぞれ午前、午後の開催とする。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	回数	回	80	79	78	0
	人数	人	907	942	1005	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.052	0.040	77	0.048	120		0	
	臨時職員	0.008		0	0.140	-		0	
支出内訳	人件費	727,808	624,810	86	1,070,637	171	309,114	29	
	事業費	1,541,138	1,515,418	98	1,532,675	101		0	
	合計	2,268,946	2,140,228	94	2,603,312	122	309,114	12	
財源内訳	国庫支出金	567,237	535,057	94	650,828	122		0	
	県支出金	283,618	267,529	94	325,414	122		0	
	市債			-		-		-	
	その他	1,134,473	1,070,114	94	1,301,656	122		0	
	一般財源	283,618	267,528	94	325,414	122	309,114	95	
	合計	2,268,946	2,140,228	94	2,603,312	122	309,114	12	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業参加者数								
指標説明(式)	事業参加者の延人数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1170	1000	85.5	1000	100.0	0	0.0	
	実績	907	942	103.9	1005	106.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

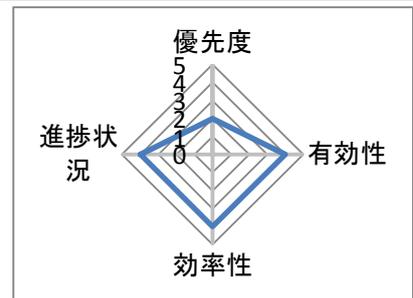
指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	26483	28400	107.2	30607	107.8	0	0.0	
	実績	28362	27091	95.5	33376	123.2			
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15	13.8	92.0	12.5	90.6	0	0.0	
	実績	11.3	11.9	105.3	12.8	107.6			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	例年通り申込者多く、参加率も良いため延べ参加者数増となった。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等に合致した内容であり、かつ市民のニーズに適した内容である。	
効率性	手段の最適性	申込み希望多く、年間2期(ともに午前、午後の1日2回開催)開催でニーズに即している。	4
	執行体制の効率性	専門職へ委託実施しており、参加者の満足度も高い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者多く、ニーズ高いがリピーターも多いのが現状



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正のため、介護予防事業全体の見直し。リピーターのみならず多くの方の意識を高めるため、一旦廃止とする。(本事業の有効性を踏まえた新規事業予定)

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022600		事業の種類	1		
年度	26	事務事業名	普及啓発事業		予算事業名	普及啓発事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	山下 恵
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成及び配布					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	パンフレット配布数	部	3000	3000	3000	3000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.074	185	0.056	76	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	635,120	624,810	98	931,885	149	743,562	80	
	事業費	321,940	308,778	96	328,677	106	338,000	103	
	合計	957,060	933,588	98	1,260,562	135	1,081,562	86	
財源内訳	国庫支出金		233,397	-	315,141	135	270,391	86	
	県支出金		116,699	-	157,570	135	135,195	86	
	市債			-		-		-	
	その他		466,794	-	630,281	135	540,781	86	
	一般財源	957,060	116,698	12	157,570	135	135,195	86	
	合計	957,060	933,588	98	1,260,562	135	1,081,562	86	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康な状態のときから、介護予防に資する基本的な知識の普及が図れる。	4
効率性	手段の最適性	生活習慣病健康診査時に配布するため、直接保健師から説明し手渡すことが出来る。その他、市民要望講座等でも随時普及啓発している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

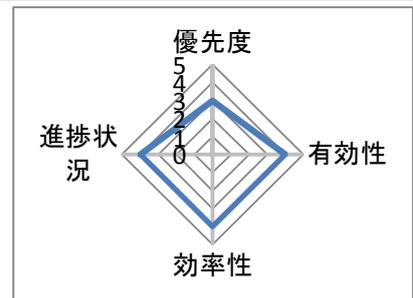
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	普及啓発の機会が固定化している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	従来への啓発機会に加え、さらに広く機会を設ける



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302022700		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	健康大学講座事業	予算事業名	健康大学講座事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	回数	回	10	10	10	10	
	人数	人	1,321	1,726	1,301	1,700	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.042	0.092	219	0.080	87	0.068	85	
	臨時職員	0.032	0.024	75	0.040	167	0.008	20	
支出内訳	人件費	708,240	1,083,118	153	1,075,573	99	857,578	80	
	事業費	400,000	400,000	100	400,000	100	400,000	100	
	合計	1,108,240	1,483,118	134	1,475,573	99	1,257,578	85	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	100,000	100	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	50,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	一般財源	758,240	1,133,118	149	1,125,573	99	907,578	81	
合計	1,108,240	1,483,118	134	1,475,573	99	1,257,578	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1500	100.0	1700	113.3	1700	100.0	
	実績	1321	1726	130.7	1301	75.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費の負担割合							
指標説明(式)		4分の10							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円/回							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市民会館中ホールにて、10回開催した。	4
	市民サービス	健康に関する関心は高く、特に高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後に、公的施設の市民会館中ホールにて、開催した。	3
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員の問題はあるが市民会館中ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	4

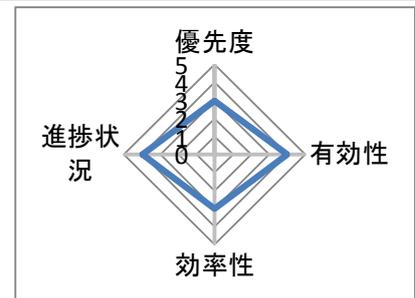
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	参加者数に見合った会場設営。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市民会館中ホールにおける予備椅子を利用した会場設営で、コストの節減を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022800	事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	いきいきアップ事業	予算事業名	いきいきアップ事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名 山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領				
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者				
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳到達者にいきいきアップ教室、いきいきアップ教室受講者にいきいきアップOB教室として、介護予防の為の運動教室として月1回トレーナーのもと運動指導を実施				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	いきいきアップ教室回数	回	24	36	24	0
	いきいきアップ参加人数	人	926	876	945	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.116	0.096	83	0.096	100		0	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.040	500		0	
支出内訳	人件費	1,222,144	1,074,810	88	1,199,541	112	309,114	26	
	事業費	864,065	1,236,778	143	930,739	75		0	
	合計	2,086,209	2,311,588	111	2,130,280	92	309,114	15	
財源内訳	国庫支出金	521,552	577,897	111	532,570	92		0	
	県支出金	260,776	288,949	111	266,285	92		0	
	市債			-		-		-	
	その他	1,043,105	1,155,794	111	1,065,140	92		0	
	一般財源	260,776	288,948	111	266,285	92	309,114	116	
	合計	2,086,209	2,311,588	111	2,130,280	92	309,114	15	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		いきいきアップ事業延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	1200	171.4	1100	91.7	0	0.0	
	実績	926	876	94.6	945	107.9			
指標名2		いきいきアップ教室参加率(%)							
指標説明(式)		いきいきアップ教室参加者/65歳到達者*100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	6.0	-	0	0.0	
	実績	-	4.5	-	5.0	111.1			

【効率性】

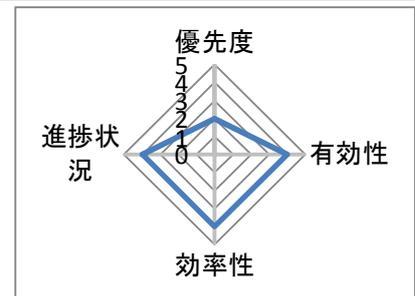
指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		71190	-	107991	151.7	0	0.0	
	実績	86925	64210	73.9	88761	138.2			
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者数/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	35	70.0	46	131.4	0	0.0	
	実績	39	24	61.5	39	162.5			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	いきいきアップ教室への参加者数、昨年は少なかったが例年通りとなった。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者希望もあり教室終了者に対するOB教室を実施し、H26年度も多くの方が継続参加された。健康の維持・向上に関心ある人には有効である。制度改正もふまえ、今後の展開について検討事項としたい。	
効率性	手段の最適性	総合福祉会館4階多目的ホールで実施しており、冷暖房の調整ができ、高齢者にとってよりよい環境のもとで運動できる。また参加人数に対して適切な広さで実施できている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度改正の為、事業見直し	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	健康の維持・向上に関心ある人に対しては有効であるが、より多くの方へのポピュレーションアプローチが必要



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	制度改正を踏まえ介護予防事業全体の見直しを行い、廃止とする。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022900	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	てんとうむしフォロー教室事業
予算事業名	てんとうむしフォロー教室事業	優先度	2
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子
取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無
		担当者名	山下 恵
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者(てんとうむし教室卒業生)	
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	二次予防事業である「てんとうむし教室」に参加していた者で、運動機能が向上し、一般高齢者となった者、あるいは介護予防ケアマネジメントによりそれらと同等の運動機能であり、事業実施が適当とされた者に対し、市立温水プールにおいて週1回、1回あたり1時間半運動指導を					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	回数	回	47	47	48	0
	人数	人	425	655	652	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.042	0.052	124	0.040	77		0	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	679,404	717,054	106	668,453	93	309,114	46	
	事業費	899,225	952,054	106	962,698	101		0	
	合計	1,578,629	1,669,108	106	1,631,151	98	309,114	19	
財源内訳	国庫支出金	394,657	417,277	106	407,788	98		0	
	県支出金	197,329	208,639	106	203,894	98		0	
	市債			-		-		-	
	その他	789,315	834,554	106	815,576	98		0	
	一般財源	197,328	208,638	106	203,893	98	309,114	152	
	合計	1,578,629	1,669,108	106	1,631,151	98	309,114	19	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ参加者の増減								
指標説明(式)	延べ参加者数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	480	106.7	720	150.0	0	0.0	
	実績	425	655	154.1	652	99.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		34985	-	35446	101.3	0	0.0	
	実績	33588	35513	105.7	33982	95.7			
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10	10	100.0	15	150.0	0	0.0	
	実績	9	14	155.6	14	100.0			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	当教室を受講した多くの参加者が運動効果を実感し、運動・介護予防に対する意識が高まっている。	5
	成果目標(改善)達成度	運動に対する意識が高まり、自主活動グループへもつながった。	
効率性	執行体制の効率性	委託先からの報告等、情報共有がスムーズに行えている。	4
	手段の最適性	市立温水プールの健康運動指導士に委託し、運動指導に必要な器具等を施設の物を使用可能であり、実施方法として最適であると考えられる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

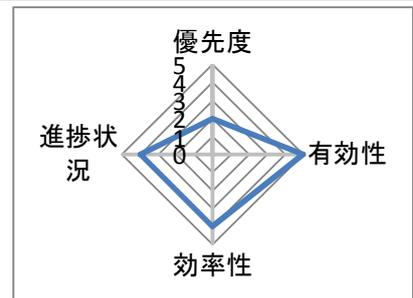
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	成果や効果等、達成度は高いが、二次予防事業のフォロー教室であり、二次予防事業の実施状況とともに検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正に伴い、介護予防事業全体の見直しにより廃止とする。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302023000		事業の種類		4	
年度	26	事務事業名	のびのび健康教室事業	予算事業名	のびのび健康教室事業	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	筋力トレーニングで介護予防を図ろうとしている高齢者					
	誰(何)を対象として	要介護認定を受けていない高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態に陥ることなく住み慣れた地域で元気に暮らしていけるように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		体力・筋力を維持するための基本的な知識と自宅で行なえるトレーニングやストレッチ体操などを指導し、介護予防を図り、住み慣れた地域で生活継続できる体力づくりを図る。前期と後期に別け、総合福祉会館及び2会場で各6回開催している。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	延べ参加者	人	809	1,033	1016		
	実参加者	人	191	241	242		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.100	0.164	164	0.154	94		0	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,079,336	1,577,998	146	1,551,725	98	309,114	20	
	事業費	1,456,819	1,800,000	124	1,602,500	89		0	
	合計	2,536,155	3,377,998	133	3,154,225	93	309,114	10	
財源内訳	国庫支出金	364,204	450,000	124	400,625	89		0	
	県支出金	182,102	225,000	124	200,312	89		0	
	市債			-		-		-	
	その他	728,409	900,000	124	801,250	89		0	
	一般財源	1,261,440	1,802,998	143	1,752,038	97	309,114	18	
	合計	2,536,155	3,377,998	133	3,154,225	93	309,114	10	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)		延べ参加者の増減							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	570	900	157.9	1,300	144.4		0.0	
	実績	809	1,033	127.7	1016	98.4			
指標名2		体力測定結果に見る体力維持の効果							
指標説明(式)		第1回教室開始前と第6回教室後に測定する体力測定の結果、「数値が良くなった」及び「数値が変わらなかった」者の割合							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	(前期)75(後期)75	(前期)75(後期)75	-	(前期)75(後期)75	-		-	
	実績	(前期)55(後期)60	(前期)66(後期)54	-	(前期)39(後期)72	-		-	

【効率性】

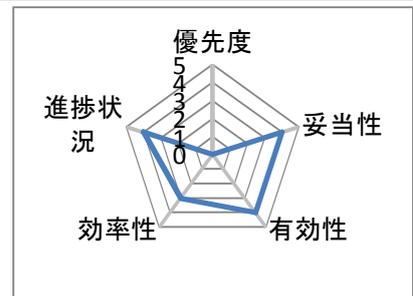
指標名1		教室参加者1人あたりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費/実参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10666.7	9090.9	85.2	6838.5	75.2		0.0	
	実績	7627.3	7468.9	97.9	1577.3	21.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開始時と終了時に体力測定を行っており、全体的な傾向として、下肢筋力の強化と平衡感覚の維持に効果が認められる。	4
	成果の向上	教具を使ったり、趣向を凝らして飽きの来ない教室づくりで、受講生にはリピーターが多い反面、より多くの高齢者の参加が課題。	
効率性	手段の最適性	月1回の教室があり、学んだことを自宅で反復継続的に実践させ、介護予防の効果を高める事が大事。	3
	執行体制の効率性	高齢クラブ連合会に委託しているため、広報以外の方法による高齢者への事業PRができ、新規受講者を増やす点で効果的。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
		平成26年度をもって事業廃止



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302023100		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	脳健康教室	予算事業名	脳健康教室事業	優先度	2
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	認知症を予防し、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	公文式学習療法による簡単な読み書き、計算、数字盤を週1回ペースでサポーターにより実施する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	回数	回	119	114	125	0
	人数	人	1151	1258	1114	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.112	0.148	132	0.080	54		0	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,191,248	1,455,006	122	978,373	67	309,114	32	
	事業費	1,827,162	1,914,799	105	1,761,149	92		0	
	合計	3,018,410	3,369,805	112	2,739,522	81	309,114	11	
財源内訳	国庫支出金	754,603	842,451	112	684,881	81		0	
	県支出金	377,301	421,226	112	342,440	81		0	
	市債			-		-		-	
	その他	1,682,705	1,684,903	100	1,369,761	81		0	
	一般財源	203,801	421,225	207	342,440	81	309,114	90	
	合計	3,018,410	3,369,805	112	2,739,522	81	309,114	11	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ参加者の増減								
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1900	1800	94.7	1400	77.8	0	0.0	
	実績	1151	1258	109.3	1114	88.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		32388	-	29985	92.6	0	0.0	
	実績	25365	29560	116.5	21916	74.1			
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	16	16	100.0	16	100.0	0	0.0	
	実績	9.7	11	113.4	9	81.8			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者数(申込者)が昨年よりも減少し、回数は多いものの延べ参加者数も減少	2
効率性	手段の最適性	より地域の方が参加できるよう、公民館や自治会館を利用している。	3
	コストの節減	教材費の一部負担を参加者に求めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度改正による事業見直し	4

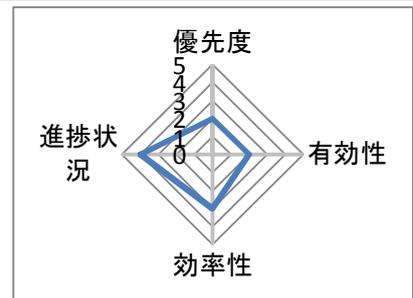
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者の固定化、参加者数の減少

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正による事業の見直しを行い、廃止とする。



配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302023200		事業の種類	4			
年度	26	事務事業名	配食サービス事業	予算事業名	配食サービス事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市配食サービス事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように					

2 事業の概要 Do

実施の概要	見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に、1食あたり200円の助成券を支給する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	延べ利用食数	食	28,525	27,607	26,528	30,625

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.080	0.124	155	0.144	116	0.132	92	
	臨時職員	0.000		-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	924,856	1,270,518	137	1,483,965	117	1,343,630	91	
	事業費	5,937,575	5,770,577	97	5,613,365	97	6,457,000	115	
	合計	6,862,431	7,041,095	103	7,097,330	101	7,800,630	110	
財源内訳	国庫支出金	2,345,342	2,279,377	97	2,217,279	97	2,518,000	114	
	県支出金	1,172,671	1,139,688	97	1,108,639	97	1,259,000	114	
	市債			-		-		-	
	その他	1,246,890	1,211,821	97	1,178,806	97	1,421,000	121	
	一般財源	2,097,528	2,410,209	115	2,592,606	108	2,602,630	100	
	合計	6,862,431	7,041,095	103	7,097,330	101	7,800,630	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ利用食数								
指標説明(式)	延べ利用食数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
食	目標	29,640	30,420	102.6	31,248	102.7	30,625	98.0	
	実績	28,525	27,607	96.8	26,528	96.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

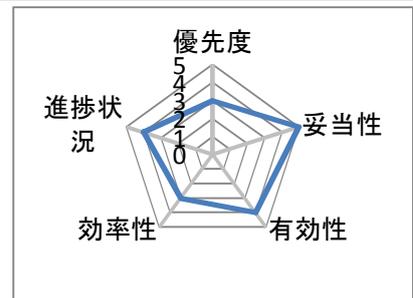
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	200.3	209.7	104.7	249.5	119.0	254.7	102.1	
	実績	240	255	106.3	267.5	104.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市民税非課税世帯が減少し、配食数が逡減している。	4
	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、本市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	
効率性	負担割合の適正化	標準配食料金550円/食に対して、補助金200円/食、利用負担額が350円/食となっており、高齢者世帯にとっては利用しやすい負担割合となっている。	3
	手段の最適性	親族による家事援助等を促す趣旨から、土日祝を除き、月20食を限度にサービスを提供しているが、親族の手助けが得られない高齢者が増加しているため、月20食の限度の見直しの検討。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	高齢利用者の状況等を照らし合わせ、サービスの提供回数の見直しを検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	利用者の状況等をケアマネ、民生委員、包括等に実態把握してもらい、利用の可否を決定する。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302023300	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	認知症高齢者サポート事業
予算事業名	認知症高齢者サポート事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		
担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子
担当者名	富田 智美		
取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無
主要事業の指定	無		
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)		
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族	
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方	
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする	

2 事業の概要 Do

実施の概要	キャラバンメイト養成研修を受講した方々を講師とし、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、認知症サポーターが地域の認知症の方への声掛け等を実施し見守りができるような仕組みづくりのため、フォローアップ講座を年1回開催					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	開催回数	回	11	12	22	12
	延べ受講者数	人	334	949	593	500

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.200	0.140	70	0.400	286	0.180	45
	臨時職員	0.000		-				
支出内訳	人件費	1,851,736	1,393,510	75	3,457,733	248	1,705,554	49
	事業費	30,900	140,100	453	73,740	53	159,000	216
	合計	1,882,636	1,533,610	81	3,531,473	230	1,864,554	53
財源内訳	国庫支出金	470,659	55,340	12	29,127	53	62,000	213
	県支出金	235,329	27,670	12	14,563	53	31,000	213
	市債			-				
	その他	941,319	29,421	3	15,485	53	35,000	226
	一般財源	235,329	1,421,179	604	3,472,298	244	1,736,554	50
	合計	1,882,636	1,533,610	81	3,531,473	230	1,864,554	53

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	開催回数の増減								
指標説明(式)	認知症サポーター養成研修開催回数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	10	100.0	13	130.0	12	92.3	
	実績	11	12	109.1	22	183.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	300	700	233.3	900	128.6	500	55.6	
	実績	334	949	284.1	593	62.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識が普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバンメイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています	4
	執行体制の効率性	H25年度キャラバンメイト養成講座を開催し、18名の登録者数増となった。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

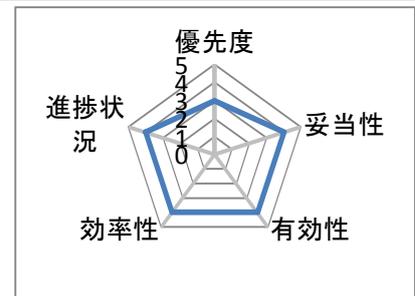
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	対象者が小学生の場合など、講座を受講する人によって、研修の手法等を見直す必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	キャラバンメイトのスキルアップと役割分担について、連絡会などで深める必要がある。分科会等を検討する。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302023400		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	後期高齢者医療保険事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 市民生活部市民課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	大川 夕貴
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		後期高齢者医療制度整備事業(更新)		後期高齢者医療制度整備事業(保守)			
		社会保障・税番号制度システム整備事業(後期)					
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者に適切な医療給付、賦課を行うことにより、持続可能な制度とし、高齢者が健やかで安心した生活を送れるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療被保険者の療養諸費、高額療養費、葬祭費等給付の受付、保険料の賦課、納入通知書の送付事業					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	保険料賦課額	円	339,217,481	339,568,337	345,988,223	380,500,000	
	被保険者数	人	4,743	4,789	4,836	4,930	
	保険料負担金	円	402,927,756	418,600,222	422,497,339	454,800,000	

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	1.580	1.688	107	1.685	100	1.713	102	
	臨時職員	0.155	0.154	99	0.155	101	0.155	100	
支出内訳	人件費	12,883,321	13,668,900	106	13,790,563	101	14,003,893	102	
	事業費	416,846,971	424,950,264	102	429,003,004	101	461,524,000	108	
	合計	429,730,292	438,619,164	102	442,793,567	101	475,527,893	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	49,566,411	51,393,081	104	58,443,727	114	61,695,000	106	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	380,163,881	387,226,083	102	384,349,840	99	413,832,893	108	
	合計	429,730,292	438,619,164	102	442,793,567	101	475,527,893	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの保険料賦課額							
指標説明(式)		保険料賦課額/被保険者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	76,694	74,914	97.7	76,362	101.9	77,181	101.1	
	実績	71,520	70,906	99.1	71,544	100.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		後期高齢者医療制度事業1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-保険料負担金)/被保険者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,884	4,267	72.5	4,180	98.0	4,291	102.7	
	実績	5,651	4,180	74.0	4,197	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者の医療保険制度がスタートして5年が経過し、安定的な運営により、健康で健やかな生活を送るための目的が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	経費を節減することにより、1件あたりのコストを削減することができた。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

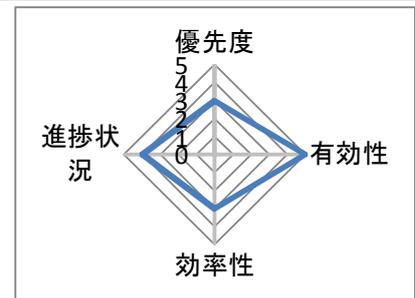
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	さらなる後期高齢者医療制度の市民への周知が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	安定した制度を維持していくためには、広域連合との連携体制を強化する必要がある。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302040100		事業の種類	1			
年度	26	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業・任意事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人	
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務の実施					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市医師会に運営委託し、地域包括支援センターの各種業務(総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務等)を実施している(平成18年度より開設)。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	総合相談支援業務	件数	1050	903	1057	1000
	権利擁護業務	件数	44	21	74	50
	包括的継続的ケアマネジメント業務	件数	93	45	63	50
	ケアプラン作成件数+地域連携件数	件数	2853	2874	2999	3100

3 投入資源

会計区分		介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.318	0.162	51	0.320	198	0.704	220	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	2,763,168	1,562,624	57	2,837,893	182	5,770,746	203	
	事業費	30,110,000	38,115,000	127	40,132,920	105	43,508,000	108	
	合計	32,873,168	39,677,624	121	42,970,813	108	49,278,746	115	
財源内訳	国庫支出金	12,984,901	15,055,425	116	15,852,503	105	16,968,000	107	
	県支出金	6,492,451	7,527,713	116	7,926,252	105	8,484,000	107	
	市債			-		-		-	
	その他	6,903,365	8,004,150	116	8,427,913	105	9,572,000	114	
	一般財源	6,492,451	9,090,336	140	10,764,145	118	14,254,746	132	
	合計	32,873,168	39,677,624	121	42,970,813	108	49,278,746	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	活動実績								
指標説明(式)	総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4100	4200	102.4	4200	100.0	4400	104.8	
	実績	4040	3843	95.1	4193	109.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		支出事業費÷(総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7378	8393	113.8	9585	114.2	9888	103.2	
	実績	7453	9918	133.1	9571	96.5			

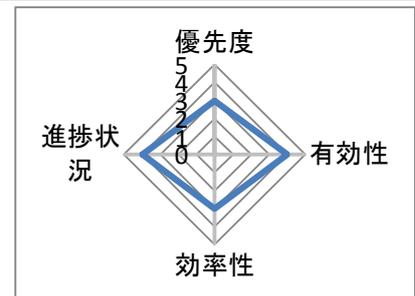
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	活動実績が高く、高齢者在宅福祉の重要な機関として市民の認知度が浸透している。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	高齢者の増加に伴い、業務量も増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	増加する高齢者のために、総合相談窓口を地域に設けるため、在宅介護支援センターを整備する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。西播磨成年後見センターの設立に向けての会議への参加している。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	市民後見に関する講演会	回	1	1	1	1	
	市民後見人養成人数	人	0	0	0	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.240	-	0.080	33	0.072	90	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		2,162,210	-	978,373	45	867,690	89	
	事業費		76,360	-	300,380	393	93,000	31	
	合計		2,238,570	-	1,278,753	57	960,690	75	
財源内訳	国庫支出金		76,000	-	300,000	395		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		2,162,570	-	978,753	45	960,690	98	
合計		2,238,570	-	1,278,753	57	960,690	75		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		講演会への参加人数							
指標説明(式)		講演会への参加人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	80	160.0	80	100.0	
	実績	35	50	142.9	63	126.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

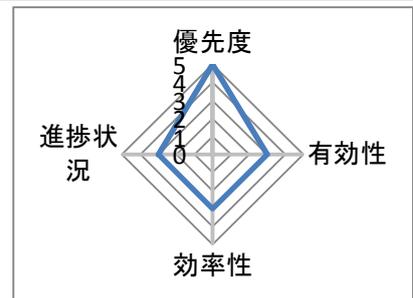
指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	100	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	後見制度の利用数を鑑み、西播磨4市3町で連携し、西播磨成年後見支援センターの設立をめざす。	
効率性	負担割合の適正化	平成27年度から国のモデル事業(市民後見人養成事業)が実施されないため、今後事業の必要性等を検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	平成26年度までは国のモデル事業のため、市の負担割合は人件費のみだったが、今後の補助の有無は不透明。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	27年度は講演会実施予定であるため、広報紙、ホームページ等で周知し、参加者の増を目指す。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010200		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	還付金	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	保険料還付人数	人	100	83	38	80	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.144	0.100	69	0.100	100	0.104	104	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,419,192	1,086,030	77	1,133,333	104	1,115,946	98	
	事業費	754,383	711,593	94	455,507	64	1,012,000	222	
	合計	2,173,575	1,797,623	83	1,588,840	88	2,127,946	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	754,383	711,593	94		0		-	
	一般財源	1,419,192	1,086,030	77	1,588,840	146	2,127,946	134	
合計	2,173,575	1,797,623	83	1,588,840	88	2,127,946	134		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者数/相生市人口							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	33	110.0	33	100.0	
	実績	30.71	31.89	103.8	33.06	103.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		還付状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		総事業費/還付人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	16861	12725	75.5	18582	146.0	26599	143.1	
	実績	21735	21658	99.6	41811	193.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に還付を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に還付を行った。	
効率性	手段の最適性	適正・確実に還付を行った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	還付事務の見直しを行い、速やかに還付できるようになった。	5

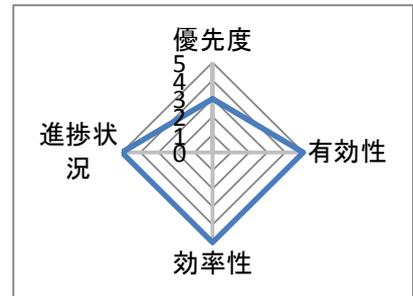
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務の見直しにより、速やかな還付処理を行った。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	還付事実が発生した場合に速やかに処理をしていく。



配点	25
総合評価	21